

# 茅ヶ崎市議会報告会

## ～開かれた議会を目指して～

平成29年11月

# 決算審査について

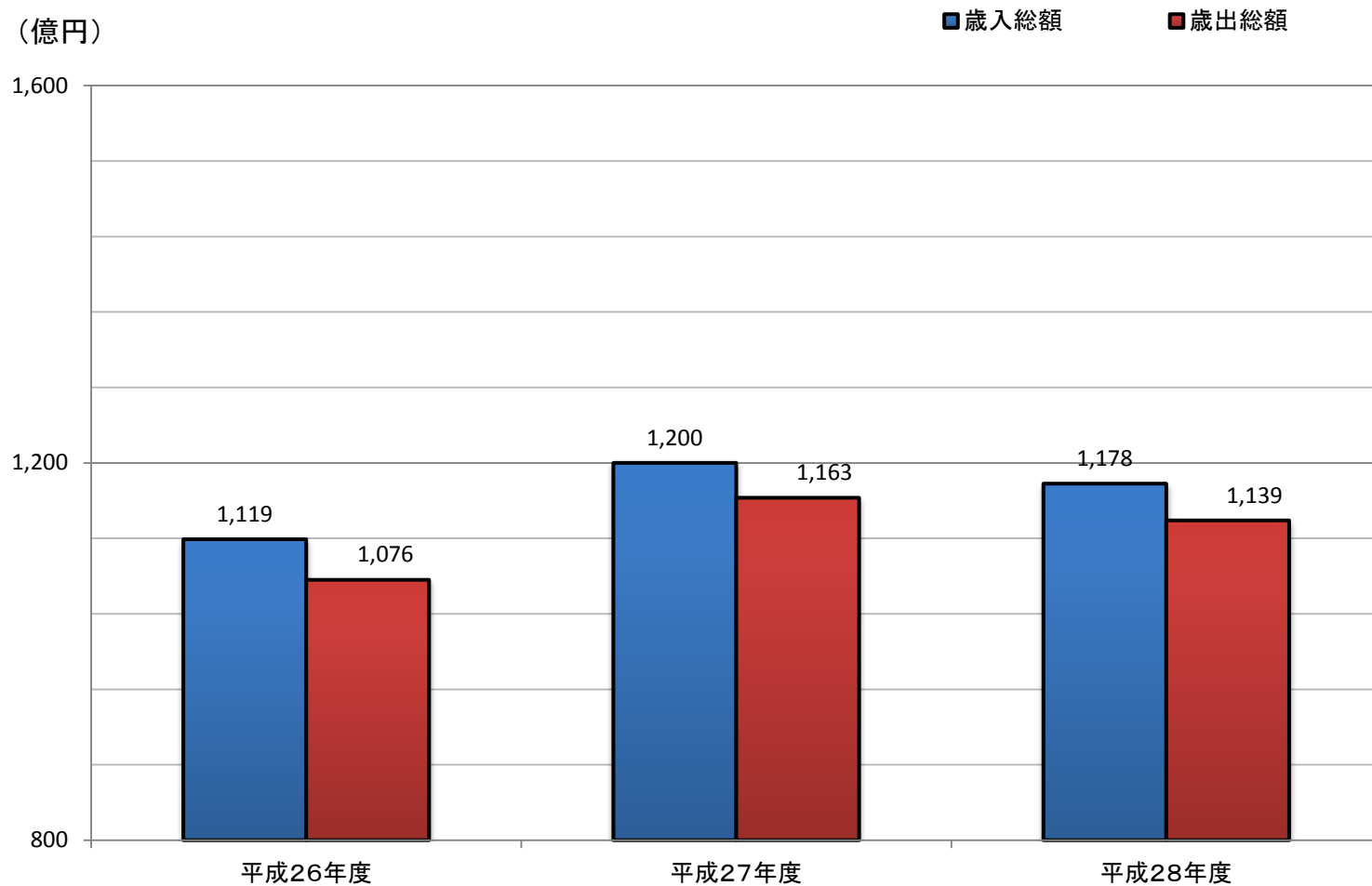
# 1 平成28年度茅ヶ崎市一般会計・ 各特別会計決算の概要

(1) 一般会計・各特別会計の決算額

- ・歳入 1,178億4,898万円  
(前年度比 1.8%減)
- ・歳出 1,139億5,993万円  
(前年度比 2.0%減)
- ・実質収支 37億6,145万円

※実質収支・・・形式収支(歳入から歳出を差し引いたもの)から翌年度への繰越財源を差し引いたもの

# 【一般会計・各特別会計歳入歳出推移】



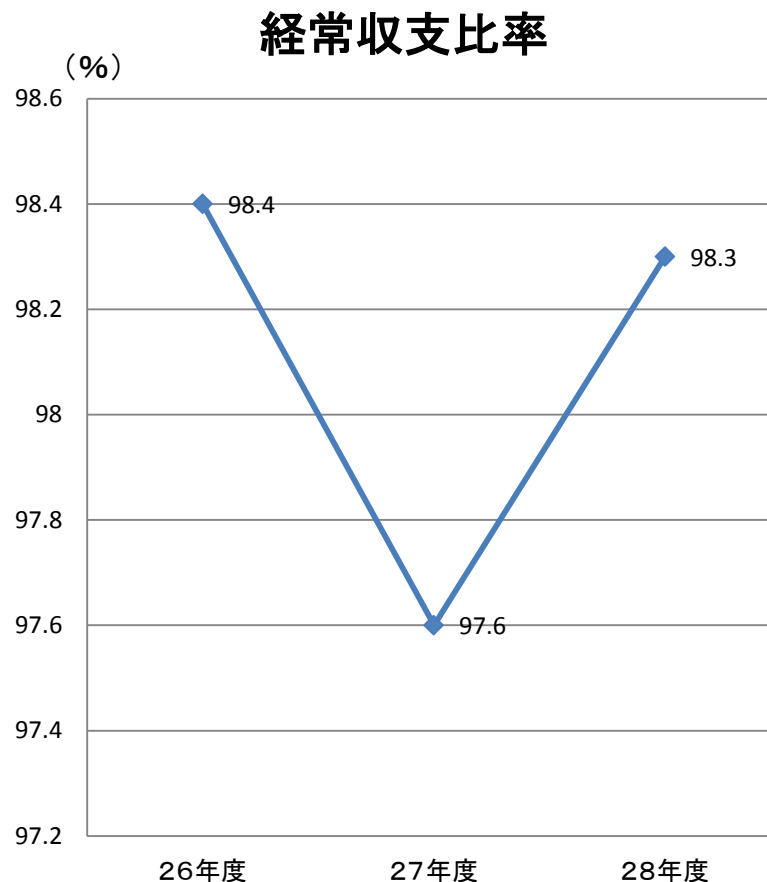
## (2) 財政構造

### 【経常収支比率】

財政構造の弾力性を表す指標です。

この比率が高いほど投資的経費等の臨時的経費に使用できる一般財源が少なく、財政構造が弾力性を失っていることを示します。

一般的には、80%を超える場合は、弾力性を失いつつあると考えられます。



# 2 一般会計

## (1) 歳入

平成28年度の歳入決算額

**734億6,976万円** (前年度比2.8%減)

・増加

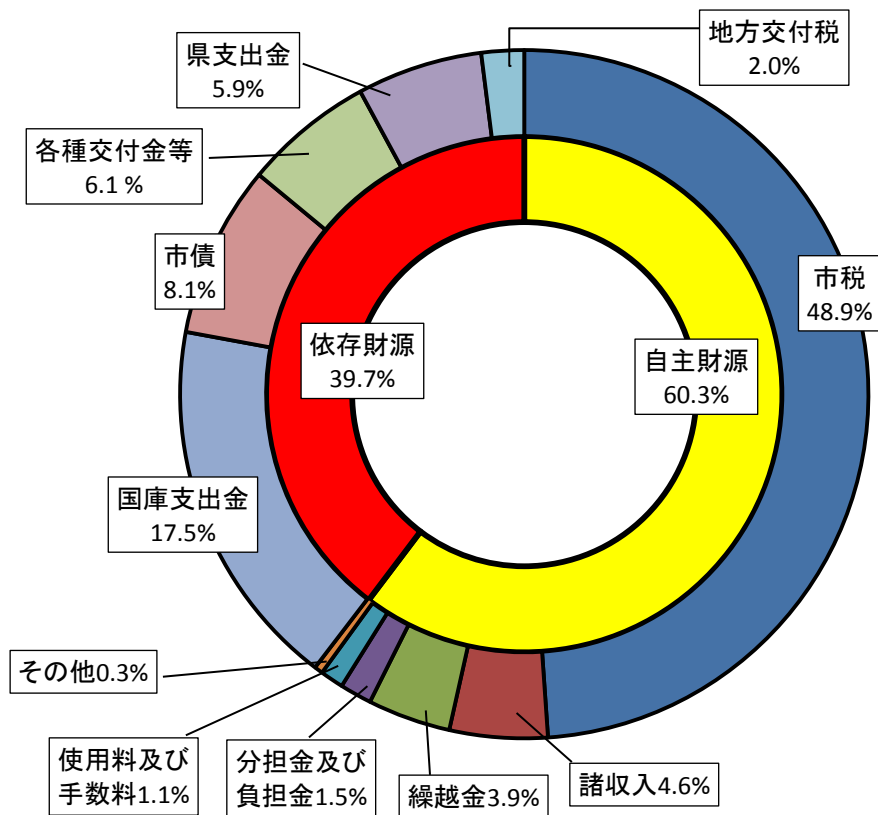
国庫支出金等

・減少

繰入金、市債等



## ア 自主財源・依存財源別歳入状況



自主財源

443億988万円

(前年度比5.0%減)

依存財源

291億5,988万円

(前年度比0.8%増)

自主財源：市が自主的に収入できる財源で、自由に使い道を決めることができます。この割合が高いほど財政の自主性と安定性が高いといえます。

依存財源：国や県の基準により使い道や金額が定められている財源です。

# イ 市税 収入済額

## 359億58万円

(前年度比1.5%増)

・増加

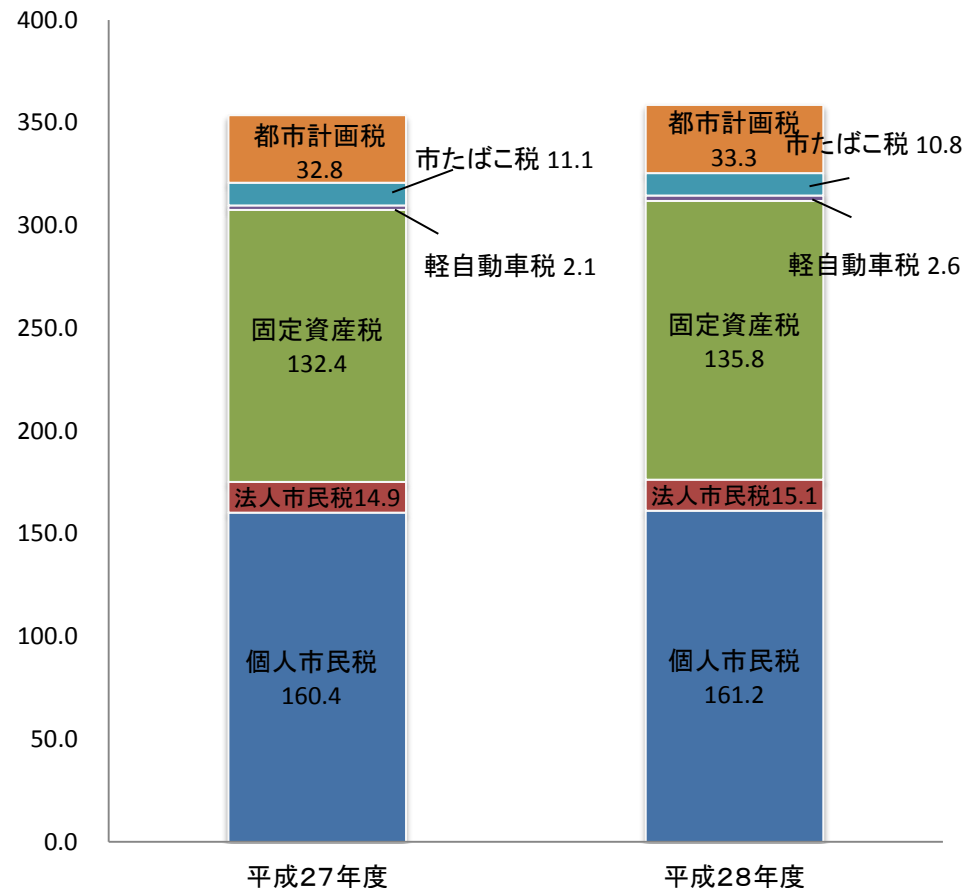
市民税、固定資産税等

・減少

市たばこ税等

(億円)

### 市税収入年度別状況



## (2) 歳出

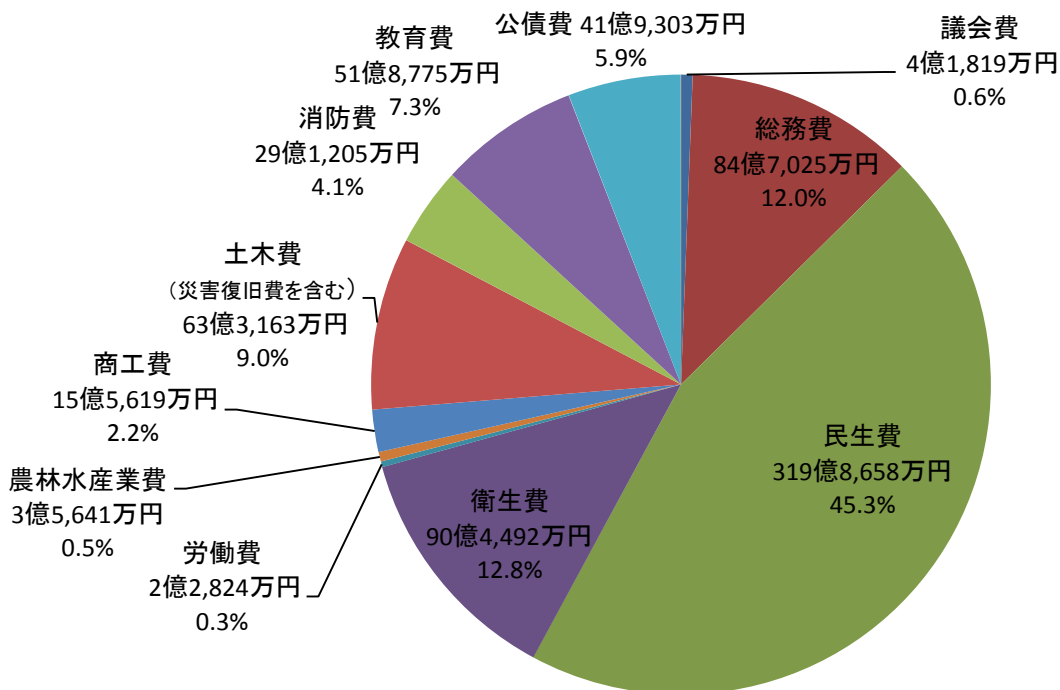
平成28年度の歳出決算額

706億8,524万円(前年度比2.8%減)

### ア 目的別歳出

支出の行政目的を基準とした分類方法です。

目的別歳出決算



・増加

民生費、衛生費  
土木費、消防費、教育費等

・減少

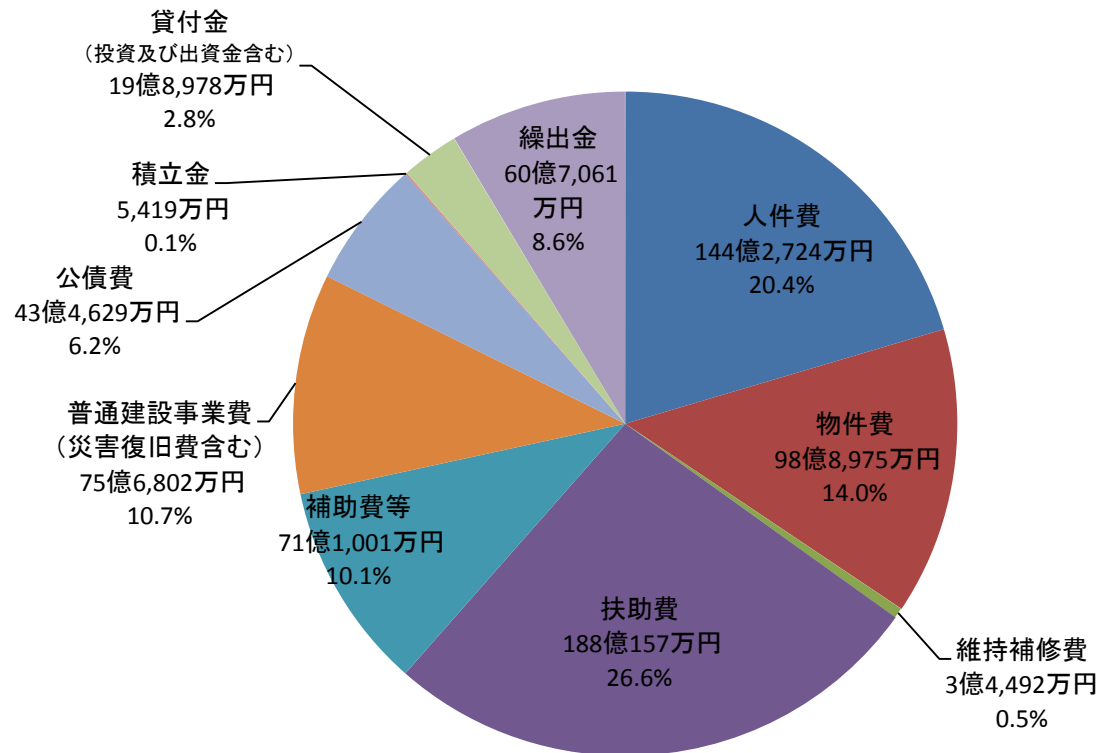
総務費、商工費  
公債費等

# イ 性質別歳出

義務的な支出や投資するための支出など、経済的性質ごとの分類方法です。

前年度に比べ、消費的経費は2.3%増加、投資的経費は27.0%減少しています。義務的経費(人件費、扶助費、公債費)は375億7,510万円で4.5%増加しています。

歳出決算(性質別)の構造



消費的経費・・・人件費、物件費、維持補修費、扶助費、補助費等  
投資的経費・・・普通建設事業費、災害復旧事業費

# 3 公営企業会計の経営状況

# (1) 公共下水道事業会計

## 【平成28年度の事業収支】

事業収益	51億6,953万円	前年度比較	△0.6%
事業費用	49億4,526万円		0.4%
当年度純利益	2億2,427万円		
当年度未処分利益剰余金 (当年度純利益と前年度繰越利益剰余金等を合わせたもの)	4億4,734万円		

※金額は、損益計算書の数字で、消費税・地方消費税を含みません。

## (2) 病院事業会計

### 【平成28年度の事業収支】

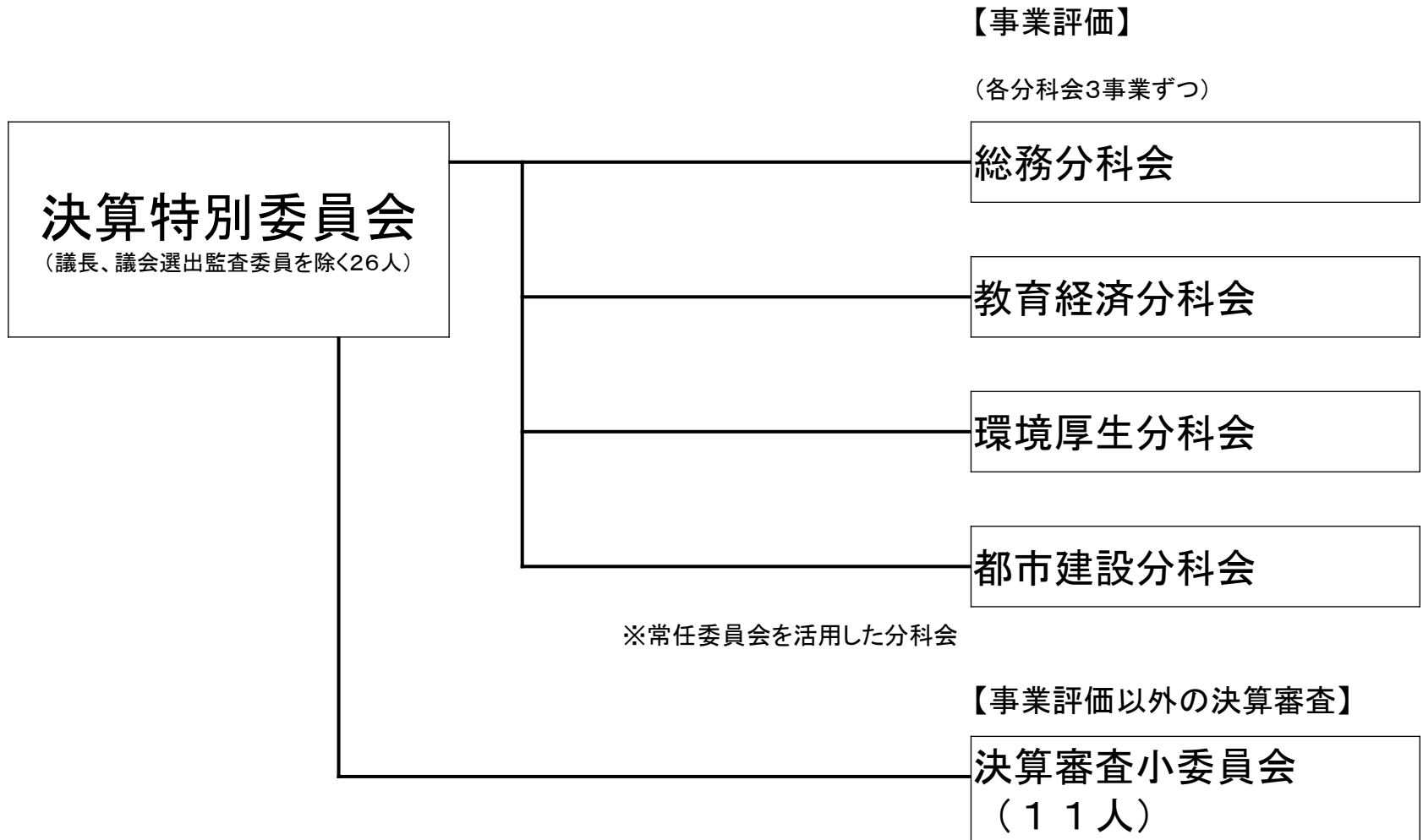
事業収益	102億2,328万円	前年度比較	△3.5%
事業費用	112億7,547万円		5.8%
当年度純損失	10億5,219万円		
前年度繰越欠損金 (27年度までの欠損金(累計赤字))	28億6,647万円		
当年度未処理欠損金	39億1,866万円		

※金額は、損益計算書の数字で、消費税・地方消費税を含みません。

# 4 決算審査



# (1) 審査方法



## (2) 事業評価の概要

各分科会

【1日目】

評価対象事業について、行政側から提出された事業評価シートをもとに質疑



各委員が評価をまとめ、座長に提出



【2日目】

各委員の評価をもとに、委員のみで議論し、評価対象事業の評価を決定



決算特別委員会

各分科会の評価を正式に決定

### (3) 事業評価以外の決算審査の概要

## 決算審査小委員会

一般会計、各特別会計、各公営企業会計を  
3日間で審査

1日目	一般会計(歳出)
2日目	一般会計(歳出・歳入)
3日目	各特別会計・各公営企業会計

# 決算特別委員会

- 各分科会による事業評価結果を決定
- 総括質疑  
(決算の全体的な内容についての質疑)
- 各会計に対する討論(採決の前に、賛成か反対かの意見を表明すること)
- 各会計の採決

## (4) 審査結果

各会計	決算特別委員会	本会議
一般会計	認定(賛成多数)	認定(賛成多数)
国民健康保険事業特別会計	認定(賛成多数)	認定(賛成多数)
後期高齢者医療事業特別会計	認定(賛成多数)	認定(賛成多数)
介護保険事業特別会計	認定(賛成多数)	認定(賛成多数)
公共用地先行取得事業特別会計	認定(全会一致)	認定(全会一致)
公共下水道事業会計	認定(全会一致)	認定(全会一致)
病院事業会計	継続審査	—

# 決算審査における 事業評価について

# 総務分科会

①地域コミュニティ事業

②PPP(公民連携手法)の推進

③消防団連携強化事業

# 教育経済分科会

①災害対策推進事業

②観光振興ビジョン推進事業

③いじめ防止対策推進事業



# 環境厚生分科会

①地域福祉活動支援事業

②多様な主体による高齢者の外出の機会提供事業（高齢者のための優待サービス事業）

③療育相談事業

# 都市建設分科会

- ①コミュニティバス運行事業
- ②公共サインガイドライン推進事業
- ③柳島キャンプ場管理運営事業

# 評価結果

事業番号	事業名 (実施計画事業名)	行政評価	議会評価
1	地域コミュニティ事業	S	拡充
2	PPP(公民連携手法)の推進	A	拡充
3	消防団連携強化事業	S	拡充
4	災害対策推進事業	A	拡充
5	観光振興ビジョン推進事業	A	現状のまま継続
6	いじめ防止対策推進事業	B	拡充
7	地域福祉活動支援事業	S	拡充
8	多様な主体による高齢者の外出の機会提供事業(高齢者のための優待サービス事業)	S	拡充
9	療育相談事業	B	現状のまま継続
10	コミュニティバス運行事業	S	拡充
11	公共サインガイドライン推進事業	S	現状のまま継続
12	柳島キャンプ場管理運営事業	S	拡充

## 【行政の評価】

各事業について、1年間の結果を次の7段階で評価しています。

- S** 事業の指標をおおむね達成し、成果が上がった。
- A** 事業の指標は達成できなかったが、成果は上がった。
- B** 事業の指標をおおむね達成し、成果は今後見込める。
- C** 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める。
- D** 事業の指標はおおむね達成したが、成果は見込めない。
- E** 事業の指標を達成できず、成果も見込めない。
- Z** 未着手

# 【議会の評価】

各事業の方向性について、次の4段階で評価しています。

## 1 拡充

【説明】 事業内容として効果が十分であり、さらに事業の対象(種類・量)、事業手法等(質)又は事業費のいずれか(又は全部)を向上し、事業を拡充する。

## 2 現状のまま継続

【説明】 事業の対象(種類・量)、事業手法等(質)及び事業費のいずれも現状のままで十分効果があり、特に変更する必要なくこのまま継続する。

## 3 縮小

【説明】 事業内容は理解できるが、事業の対象(種類・量)又は事業費を縮小し、実施すべきである。

## 4 休廃止

【説明】 所期の目的達成、ニーズ・対象の減少、他に優先すべき事業がある等の理由により、事業を休止又は廃止すべきである。

ご清聴ありがとうございました。

